

大阪で初の講演会を開催!

2015年8月8日(土)、第3回七大学若手会(2014年7月設立・許志国会長 京都大学修士)の講演会が大阪大学中之島センターで開催された。関西では京都大学若手会を含め、史上最高となる54名(男性35名、女性19名)が参加した。一般社団法人学士会 関西事務所の坂本安行所長、大阪大学卒業生室大倉美恵子副室長から祝辞をいただき、田中正人様(株式会社菓匠三全)、大阪大学総務企画部国際交流課 加賀涼子様が来賓として出席された。

講演会に先立ち、許志国(京都大学卒)会長から七大学若手会の設立経緯・運営方針・今後若手会が目指す姿の趣旨説明があった。これに続き、大阪大学大学院基礎工学部 研究科システム創生専攻教授で、マツコロイドなどでテレビでも有名な石黒浩先生が「一人を知るためのロボット研究」と題する講演を行った。



世界初大学横断・若手限定の大学同窓会——七大学若手会

許志国会長からは、「全員幹事」等の七大学若手会の特徴・設立経緯・交流方針等の説明があった。さらに、より多くの方々に若手会の趣旨を理解して頂くため、若手会の運営の基本方針等を初公開。
若手会設立趣旨は若手会のホームページにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。



許志国 会長
愛称 ジーコ

会長からの趣旨説明

学士会関西事務所坂本所長・大阪大学卒業生室大倉美恵子副室長から祝辞の言葉をいただいた。会場となる大阪大学中之島センターをお借りしたこともご縁となった。



関西事務所
坂本所長

関係者からの祝辞

その後、講演を踏まえた参加者全員でのグループ討論と石黒先生との質疑応答、クイズ大会などの懇親会を開催、盛況のまま大阪で初めてとなる講演会は幕を閉じた。



講演中の石黒教授

石黒浩先生は、ロボット学の第一人者。講演では、専門分野であるロボット学を中心に話が展開されつつも、先生の興味のある人間そのものにあることが明らかされた。

「答えることはどうすることもできませんか?」は、冒頭に先生から出席者へ投げかけられた言葉である。大人が知ったつもりで答えてしまうこうした疑問にも答えることができるまで、先生は学校から出ないと決意したとい

う。当日もトレードマークの全身黒づくめで登場した石黒先生だが、著作の中で「こうして毎日違う服を着るの」と疑問を持ち、理由がないことをすることに抵抗があることが語られている。こうしたエピソードからも、その人となりを伺い知ることができ

る。人は、自分のことが一番よく分からないと言っている。では、自分というものを理解するためにはどうすればよいのか。社会の中で様々な人と関わることで自分の正体を見定めていくというのが先生の回答であり、それがこそが人生の究極的な目標であるとした。

先生がアンドロイドを製作して

いく中でも、その動きを観察することで、普段は気にも留めない行動を捉え直すことが多いという。社会にロボットが普及していく中で、人は自分を見つめ直す機会が増えるのではないかと、というのが先生の主張である。

石黒先生が専門を「ロボット工学」でなく「ロボット学」としているのも、エンジニアリングにとどまらず、脳科学や哲学分野も巻き込み、広く人間に対する理解を深めようという意思の表れだとした。

今後ますます介護、教育などアンドロイドの活躍する場は広がっていくとされているが、大きな理由に「人が利用する最良のインターフェイスは人である」ことを挙げている。例えば、普段は口数の少ないお年寄りであっても、ロボットにならば積極的に心を開いてくれることが期待できるという。

最後に先生は、出席者への宿題として「心とは何かを定義してください」と投げかけた。あらかじめプログラムされた動作だけを行うロボットにさえ、対話を通じて我々が「心」を感じることに、その「心」とは一体何か。その答えもまた、ロボットという鏡を通して見つめ直すことになるのかもしれない。

石黒教授の講演内容抜粋

- 人間は社会的な生き物であり、社会という鏡を通して初めて自分自身を理解することができる
- 人間もロボットと向き合うことで、自らの行動を捉え直す機会を持つ
- 人の命に絶対的な価値はなく、その価値を探ることが人生。人生とは自分探しを通して人間を理解するということ
- ロボットと人間の境界を作ろうとしているのは人間の方であり、人間の方が偉いという枠組みが壊されることを恐れている
- 我々は、ロボットにはできなくて人にしかできないことで価値を生み出していく必要がある



討論会の風景

日本が世界に誇る天才学者石黒教授による講演会
考えるとはどうすることが
説明できますか?

懇親会でクイズ大会

懇親会では、秋山侑平・吉野良介幹事の軽妙な司会により、クイズ大会が開催された。参加者は10チームに分かれ、旧七帝大や石黒教授それぞれ、母校の思い出にひたたり、他の旧帝大の豆知識を知ると、和やかな雰囲気を楽しみ、時を過ごした。



クイズ大会の風景・石黒教授も参戦!



二次会の様子 賛助会員の田中さんも参加



受付の様子



懇親会の様子



第3回講演会幹事团成员及び担当業務

- 谷川直紀(2018年阪大博士修了予定):リーダー
秋山侑平(2011年京大博士修了):副リーダー、余興
梅村公博(2009年名大修士修了):司会
★津田奈美(2011年京大修士修了):司会
★正木香織(2011年阪大卒):名簿、受付 ★:女性
四方直樹(2008年京大卒):名簿、受付
吉野良介(2015年阪大修士修了):余興、二次会
永瀬修之(1998年阪大卒):受付、写真撮影
★佐々真理子(2008年京大博士修了):受付、写真撮影
野口宏(1998年名大修士修了):写真撮影、二次会
福田大輔(2005年京大卒):ビデオ撮影、新聞編集
武藤幹大(2004年京大卒):ビデオ撮影、新聞編集
★三根早苗(1998年京大修士修了):写真撮影、新聞編集

幹事団リーダー谷川氏

幹事感想

★「田辺さんからの誘いで初めて参加しました。知らない人が集まる場所もイベントごとの準備も苦手で不安だったのですが、優しい幹事団の皆さんに温かくサポートしていただきながら安心して楽しく務められました。名簿の配布メールや受付で私の名前を覚えて話しかけてくださった方、「名簿があつてよかった!」と言ってくださった方がいらっしゃいました。思い切つて幹事を務めてみてよかったと思っています。また若手会の皆さんとお会いしてお話しできることを楽しみにしています」■文:正木氏
★「今回の若手会の講演会は初参加で初幹事でした。リーダーに立候補したものの初参加だったので、流れが掴めず苦労しました。しかし、他の幹事や担当役員の方たちのおかげで無事に務めることができました。幹事団の他の方々との交流も深まり、幹事を引き受けてよかったです」■文:谷川氏

賛助会員

Table with 6 columns: No., 氏名, 性別, 卒業大学, 卒業年, 勤務先. Lists members like 杜頼富, 大倉美恵子, 福井俊彦, etc.

講演が実現に至るまで

8月8日(土)大阪にて関西初の七大学若手会講演会を開催することができました。講師は関西発の開催にもふさわしく、世界的にも著名なロボット学者・大阪大学特別教授の石黒浩教授にお願いしました。石黒先生には以前、若手会会長が講演を依頼したが、ご多忙のため実現しませんでした。今回、阪大関係者が関西を代表する大学であること、知能ロボットが世界に誇る先端技術であること、石黒先生にぜひお願いしたいという旨を伝え、了承いただきました。

若手会だより logo and photo of a meeting.

第1回幹事団会議の後、幹事団で飲み会を実施。初対面の幹事同士もざっばらんに話ができ、結束力の強化につながった。



講演会当日の約2時間前から、幹事団が集まって、事前会議を行った。準備万端で、和やかな雰囲気のもと参加者を迎える準備を行った。



賛助会員・共催である大阪大学 卒業生室副室長 大倉美恵子先生

◆「ハブニング!」講演会当日、石黒先生から田辺役員にご連絡があり、渋滞に巻き込まれて車が動かず、いつ到着するか分からないとのこと。さわめき立つ幹事団の中、そこは今回の幹事団を見事とめ切つてきた田辺役員。他の幹事団と相談し、あらゆるケースを想定して臨むこととなった。やきもきしながら準備を行っている石黒先生から再度ご連絡があり、間安りに到着するとのこと。そして最終的には事前の到着予想時刻を上回る早さで到着なさつたのであった。なお、こういう場合に備えてアンドロイドを事前に送ってもらつて遠隔で講演して頂

若手会小物語 logo and a rabbit illustration.



三次会までなだれ込んだ面々。皆の笑顔がこの回の成功を物語っているのではないだろうか。



二次会での様子。積極的な交流が行われ非常に盛り上がった。

講演テーマは、ありきたりな内容より若手から出たテーマの方が面白いだろうと、若手会幹事団でアイデアを募りました。その中から、「石黒先生ご自身の研究に対する考え方、ロボットが人間より賢くなる可能性、若手研究者に期待すること」などをまとめてお送りしました。当日の講演では、若手幹事団の希望を受け、ロボット技術だけでなく、大学研究の現状や人とは何か、心とは何かなど哲学的な側面にも踏み込んでいただけでも驚きです。関西初の若手学生会開催というにもあり、一人でも多くの方に参加してもらいながら告知活動に

若手会の今後の予定

- 【東京】10月31日(土) 若手昼食会
【東京】11月7日(土) 七大学若手会 (講演会)講師)宮本雄二大使
【東京】11月28日(土) 若手会感謝祭

※詳細と参加申込はコチラ

七大学若手会 logo and QR code.